

## 令和2年度第1回江南市地域公共交通会議議事録（書面会議）

- 協議期間 令和2年7月31日（金）～8月11日（火）
- 場 所 各委員の居所 意見とりまとめは事務局（市役所）にて行う。

### ●委員 18名（敬称略・順不同）

愛知県都市整備局交通対策課担当課長	澤木 徹
名鉄バス(株)営業本部運行部運行課長	吉岡 実
愛北乗用自動車(有)代表取締役	森 一浩
公益社団法人愛知県バス協会専務理事	小林 裕之
愛知県タクシー協会副会長	小川 健司
江南市老人クラブ連合会会長	西部 茂夫
中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官	鈴木 隆史
尾張北部タクシー(株)	鈴木 浩示
愛知県一宮建設事務所維持管理課長	吉澤 良一
愛知県江南警察署交通課長	大矢 玄康
公募委員	岩田 富実雄
公募委員	朱宮 幹二
公募委員	中村 健一
中部大学工学部都市建設工学科教授	磯部 友彦
江南市社会福祉協議会事務局長	川田 保
江南厚生病院事務部長	朱宮 光輝
大口町地域協働部長兼町民安全課長	佐藤 幹広
江南市都市整備部長	野田 憲一

### ●会議資料

- 資料1-1 : 令和元年度地域公共交通に関する自己評価概要（中部様式）
- 資料1-2 : 政策評価の評価方法
- 資料2 : いこまいCAR（予約便）受付時間の延長について
- 参考資料 : 令和元年度江南市地域公共交通（いこまいCAR・バス）の利用状況  
江南市における地域公共交通の基本的な考え方  
第三者評価委員会資料（中部様式）作成の手引き  
江南市地域公共交通会議設置要綱  
江南市内のバス停・路線図  
いこまいCAR（予約便）ご利用案内

## 副会長の選出

副会長の前任の江南市社会福祉協議会事務局長の小塚委員が、令和2年3月31日付で退任となり、江南市地域公共交通会議設置要綱第5条第1項の規定により、副会長は委員の中から会長が指名することから、会長指名により副会長には後任の江南市社会福祉協議会事務局長の川田委員を選出した。

## 令和2年度第1回江南市地域公共交通会議（書面決議）での委員の意見と事務局の回答について

### 協議事項（1）

令和元年度地域公共交通に関する自己評価について（資料1-1・1-2）

#### 【委員】

資料1-1 P9 令和元年度地域公共交通に関する自己評価概要に「いこまいCAR（予約便）の立寄りのPR」とあるが、タクシー事業者の立場として何か行わないといけないのか。

#### 事務局

利用者からの問合せがあった場合は、タクシー事業者に対応をお願いします。

#### 【委員】

いこまいCAR（予約便）利用者1人あたりの市負担額を抑える施策（1便あたりの利用者数を増やすなど）を進めてもらいたい。

#### 事務局

いこまいCAR（予約便）利用者が立寄りを利用し、立寄り先で知人と相乗りを行うと、市負担額や利用者負担額が安くなることが期待でき、利便性の向上が図れるので、江南市老人クラブ連合会で、いこまいCAR（予約便）の立寄りのPRを行っていく。

#### 【委員】

江南厚生病院発布袋駅行き名鉄バスの午後便の増便は可能か。

#### 事務局

名鉄バスと密に連携し、利用者数等の利用実態を把握する。午後便の増便によって利用者数の増加が期待できるなどダイヤの改正が必要である場合は、利用状況に応じて、より利用者のニーズに合った運行となるよう検討する。

**【委員】**

午前 7 時台の江南駅発江南厚生病院行き名鉄バスの増便の検討状況はどうか。

**事務局**

午前 7 時台の江南駅発江南厚生病院行き名鉄バスについて、利用者が多いことを把握しているので、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえて、バスの増便については今後検討していく。

**【委員】**

いこまいCAR（予約便）のPRを広報こうなんに毎月掲載すればよいと考える。

**事務局**

広報こうなんの紙面には限りがあるため、毎月掲載は難しい。

**【委員】**

資料 1-1 P 9 いこまいCAR（予約便）対応方針の記述を一部修正。

（修正前）いこまいCAR（予約便）の立寄り利用をPRする。

（修正後）いこまいCAR（予約便）が立寄り利用も可能となり利便性が高まったことをPRする。

**事務局**

ご指摘のとおり修正する。

**【委員】**

自己評価の目標数値を免許返納、高齢者数増加などを想定し設定する。その上で自己評価するべきであるとする。

**事務局**

自己評価については、目標数値は設定せず、平成 28 年度を基準年として公共交通利用回数の経年推移や利用状況の分析を行っている。分析結果で、数値が増減した要因について免許返納や高齢者数増加などの例を挙げている。

**【委員】**

福祉タクシーの利用を公共交通利用に入れて、評価を行うのはどうか。

**事務局**

江南市地域公共交通会議で協議を重ね、「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」を策定し、そのなかで現在の地域公共交通政策評価の方法を定めており、その評価方法は、路線バスの利用人数、いこまいCAR（予約

便)の利用人数、大口町コミュニティバスの江南市内のバス停の利用人数を合計して年間の利用回数を算出し、年度末時点の人口で除することにより、市民一人当たりの公共交通利用回数を算出するとしている。また、事業評価については、評価対象は、江南市が公共交通を直接実施(支援)する路線バス(補助路線)、いこまいCAR(予約便)としている。福祉タクシーの利用を公共交通利用に入れる等の評価方法の見直しについては、江南市地域公共交通会議で協議をする必要がある。

#### 【委員】

社会福祉協議会が行っている地域での買い物乗合バスの全市的推進など検討に含めるよう提案する。

#### 事務局

社会福祉協議会が行っている地域での買い物乗合バスについては公共交通を担うものではないため、市の担当部署にご意見を伝える。

#### 【委員】

コミュニティバスの全市的運行を行政主導で検討するよう提案する。

#### 【委員】

昨年から今年にかけて「江南市に巡回バスを走らせる会」を結成し、市議会に対して江南市に巡回バスの実現を求める請願署名を行った。署名は1万500筆余りが集まり、3月議会に提出したが、委員会、本会議とも不採択となった。この署名の目的は、市が今後10年間は現在の名鉄バスといこまいCAR(予約便)による公共交通を続けるとの交通政策を決めたことに異議を唱えるものである。今でさえ高齢者が多くいる中で、今後10年間も現状が続くことは高齢者や低所得者にとってとても許すことはできない。いこまいCAR(予約便)については、今までも様々な問題が指摘されている。江南市地域公共交通会議においても、今までのいこまいCAR(予約便)頼みの交通政策を改め、巡回バスやコミュニティバスなど新しい公共交通政策を検討することを要望する。

#### 事務局

江南市では、江南市地域公共交通基礎調査を実施し、江南市公共交通再編委員会、江南市地域公共交通会議で協議をした。平成29年度に評価に関して、市の公共交通に関する基本方針作成の必要性を認識し、「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」を策定した。「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」にあるように現在の公共交通は、鉄道、路線バス、いこまいCAR(予約便)、福祉タクシーおよび大口町コミュニティバスで担っ

ており、基礎調査結果ではおおむね充足している結果であった。市として「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進しており、コンパクトエリアについては、鉄道や路線バスを中心に市民の足を確保し、コンパクトエリア外については、既存の公共交通をできる限り維持するとしている。したがって、巡回バスやコミュニティバスを含めた新しい公共交通サービスを導入する場合は、既存の公共交通ではカバーできない地域のニーズに対応する役割を担い、地域の実情に即した公共交通にするため、地域が主体となる必要がある。

#### 協議事項（２）

いこまいCAR（予約便）の受付時間の延長について（資料２）

##### 【委員】

延長するのは利便性が高まり良いと思う。

##### 【委員】

バスに乗車不可能な市民のためにもどうしても必要な意見が多いと思う。

##### 【委員】

いこまいCAR（予約便）頼みの交通政策について不満はあるが、昨年引き続き利用条件がよくなることに反対するものではない。

##### 【委員】

受付時間延長を午後９時までとした理由はあるか。

##### 事務局

受付時間を延長することで利便性の向上をはかるため、実務を行う事業者と打合せを行い、話し合いを重ねた結果、午後９時までとした。

##### 【委員】

「江南市における地域公共交通会議の基本的な考え方」について、市が公共交通で何を指したいのかを具体的に示してほしい。また、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に伴い、市の公共交通計画策定の検討をお願いしたい。

##### 事務局

「江南市における地域公共交通会議の基本的な考え方」に基づき①「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方に基づいた、都市的機能と自然環境が調和した機能的なまちづくりをめざす。②中心拠点—地域拠点間や、中心拠点同士を交通ネットワークで結ぶ。③拠点への都市機能の集約や拠点間

ネットワークの確保を前提とした「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進する。④中心拠点・地域拠点の整備方針や拠点間ネットワークの考え方を整理し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のより具体的な取り組みを推進していく。市の公共交通計画策定については、市の公共交通のあり方をふまえて、近隣市町の動向をみながら検討する。